

令和4年 **12**月の**思いやり**通信



背水の「1.5度」目標 温暖化ガス排出余地 4000億トに

2030年に超過の懸念 COP27閉幕

*異常気象を一定程度に抑えるパリ協定の「1.5度目標」の実現には、残り4000億トしか温暖化ガスを排出できません。

・いまのままでは2030年にも超過しかねません。

*「パリ協定」は気温上昇を産業革命前に比べ1.5度以内にする目標。

・この一線を越えると災害リスクが高まります。

*1.5度目標を実現するには、二酸化炭素(CO₂)を産業革命以降計2兆8000億トまでしか排出できません。

・2019年までに、すでに2兆4000億トを排出。

*世界の年間排出量は400億ト程度。

*1.5度目標の達成には2030年までに2010年比で45%減らし、今世紀半ばにゼロにしなければいけません。

●COP27 世界の温暖化対策を主導

*気候変動対策について話し合う国際会議。

*1995年以降、基本的に毎年1回開催。

*今回は27回目のため「COP27」と呼ぶ。

*198の国と地域が条約を批准。

*地球温暖化の対策について、国際的な目標や協力体制を決める会議としての最高決定機関。

(2022年11月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(27) 再生エネ、初の 20%超

経産省、昨年度の電源構成 欧州・中国には後れ

*2021 年度の発電電力量のうち再生可能エネルギーの割合は 20.3%と初めて 2 割を超えたものの、4 割を超える欧州主要国や 3 割近い中国より低い水準。

*火力発電に大きく依存する構造が続いていて、二酸化炭素（CO₂）排出量は 2020 年度から 1.2%増と 8 年ぶりの増加。

*化石燃料を使う火力発電は 72.9%。

・天然ガスが 34.4%、石炭が 31.0%、石油が 7.4%。

*原発の比率は 6.9%。

*再生エネは 0.5%増の 20.3%。

・太陽光が最も多い 8.3%で 0.4ポイント増。

・風力は前年度と変わらず 0.9%、水力は微減の 7.5%。

*政府はCO₂ 排出量を、2030 年度に 2013 年度比 46%削減する目標を掲げています。

*再生エネの電源構成比率は 2020 年時点でドイツが 43.6%、英国が 43.1%。

・CO₂ 排出量が最も多い中国でさえ 27.7%。

・米国は 19.7%。

*日本政府は 2030 年度の電源構成のうち再生エネを 36~38%に、原子力を 20~22%へ。

・原子力も目標の達成には 30 基近くの原発の稼働が必要に。現状は 10 基体制。

(2022 年 11 月 23 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

